



吉川団地南側の道路

(答)市民生活部長 相談体制は十分と考えるが、追跡調査は行っていないので今後力を入れながら実施していきたい。

UR都市機構 (吉川団地)に 環境整備を

川島 美紀

(問) 昭和47年建設の吉川団地は30年以上経過していますが、高齢者の方や子育てママたちの声から出された、公園内のトイレの設置や遊具の見直し、障がい者に優しい道路の整備等の要望に対し、市としても支援をすべきと考えますが、ご見解を伺います。

(答)都市建設部長 吉川団地南側の段差は、平成19年度から行っている沼辺公園線の道路整備に合わせて解消。その他の市道は乗り入れ口を施行したURと段差の解消について協議をしていきます。また、リハビリ遊具の設置は高齢者や障がい者等、多く居住されていますのでUR都市機構に要望をいたします。公園内のトイレの設置は、居住者の負担の発生等で難しいということです。

21世紀の人道の世紀へ 「健康福祉のまち」を内外にPRを

(問) 誰もが、その存在を尊重されながら生きていける地域づくり「行政と住民との協働による福祉」が重要であると考えますが、市長のご見解を伺います。
(答)市長 平成19年度からの後期基本計画策定では、福祉環境づくりや子育て家庭の支援などの少子化対策を重点施策として取り組めます。多様な福祉ニーズに応えていくには市民一人ひとりが福祉の担い手としてパートナーシップや協働の意識を持つことが大切であると認識。現在災害時に備えた高齢者や障がい者等の要援護者の名簿登録を実施し、地域で見守る体制づくりを進めています。

妊婦無料健診の 拡大を

五十嵐 恵千子

(問) 公明党は少子化対策として、かねてより国や地方においても一貫して拡大を主張し、強く推進してまいりました。今、一度も健診せず飛び込みで出産する若い女性が増えています。奈良県の事例でも、病院での受け入れ拒否の理由の一つが妊婦健診を受けていないことでした。未受診の理由は「経済的理由」と伺っております。

最低必要な5回までの妊婦無料健診の拡大と、かつその存在を広く周知し、受診を促すことが必要と考えます。ご見解を。
(答)市長 受診機会を確保し、母体や胎児の健康を守るために、5回の公費負担を行なっていく。
(答)健康福祉部長 予算要望をしているところで、来年4月からの実施を考えています。

若者の就職促進を図るため、 吉川版ジョブカフェ設置を

(問) 平成16年6月定例議会において、「当市の若者の就業意欲

促進と支援の拡充を図るべき」と提案し、現在、保健センター2階相談室にて若年者就職支援相談が行なわれていますが、おあしすに場所を移し、利用促進を。

(答)市民生活部長 これまでの利用は15回11名です。今後、相談しやすいよう、意見を踏まえ実施の調整をしていきたい。

駅南での元気な高齢者「ふれあいの場所」の推進を

(問) 本年6月議会で質問と提案をし、「閉じこもりや楽しみ、生きがい対策などのために大変有効であると考え、児童館など公共施設での実施が可能かどうか、施設運営や管理上の問題点など検討します。」とのご答弁をいただきました。検討の進捗状況を。

(答)市長 駅南地区に公共施設を利用した、ふれあいデイサービス実施の準備を進めています。
(答)健康福祉部長 7月実施予定。



武蔵野線最終電車の 時刻延長と荒天時の 運行見合わせの解消を

互 金次郎

(問) 吉川駅ご利用の通勤・通学の方々から最終電車時刻の午前1時台までの延長と、悪天候時の運行見合わせの解消を望む声を多数いただきました。

吉川新駅構想が現実化しつつある今こそ切実な市民要望を踏まえて、輸送力の強化・改善を図るべきと考えますが。

(答)市長 武蔵野線沿線8市で構成する武蔵野線旅客輸送改善対策協議会を通じて、最終電車の時刻延長や定時運行の確保等の要望をJR東日本に対して実施していきます。

(答)都市建設部長 吉川新駅は2面3線を予定しています。始発・終電の機能があると聞いていますので、まずは新駅の開業を目指し将来的な課題として進めていくことが大事と考えます。

吉川中央第1調整池整備事業 計画にフットサルコート

(問) 近年、コンパクトなスペースで手軽に楽しめるフットサル